

E V化の進展に伴う対応について

○ものづくり産業支援センター事業費 1,833万9,000円

【概要】 地域産業の基盤や雇用確保の面で重要な存在である中小企業に対し、ものづくり産業支援センターから定期的に巡回訪問を行うことにより、企業のニーズを把握するとともに、その内容に応じた専門アドバイザーを派遣してさまざまな支援を行うことにより、ものづくり企業の活性化および産業の基盤強化を図るもの。

質疑 E V化の進展に伴う関連企業への支援は検討しているのか。また、予算の内訳はどうなっているのか。

答弁 令和4年度に事業者を対象としたE V化の影響などに関するアンケートを実施し、その結果から事業者の実情などを把握した。今後は、令和4年度末にもものづくり産業支援センターの専門アドバイザーを対象に勉強会を開催するなどして、知見を広め、令和5年度以降の事業者への支援について検討していく。

また、予算の内訳については、予算額の大部分がアドバイザーの活動費となる。令和5年4月時点で34名のものづくり専門アドバイザーが在籍する予定であり、当該アドバイザーに係る報酬・謝礼として1,696万5,000円を計上している。



鈴鹿市ものづくり産業支援センター

海岸清掃の実施について

○海岸等環境整備費 1,200万円

【概要】 三重県からの委託を受け、主に海岸美化を目的とした海岸清掃を実施するもの。

質疑 予算の内訳はどうなっているのか。

答弁 年2回実施している市内各海岸の清掃について、事業者と業務委託契約を締結しており、その委託料を支出している。

また、ボランティアによる海岸清掃で集められたごみの回収についても、市から当該事業者が発注しており、その回収に係る費用を支出している。



清掃前



清掃後